

竜野駅周辺整備事業について



永富 靖 議員

NAGATOMI YASUSHI



**問** 竜野駅舎改修工事の進捗状況はどうか。

**答** 竜野駅北からの利用者の利便性の向上を図るため、南北自由通路から直接ホームに降りられるよう計画しており、JRRと早期合意に向け引き続き協議する。

**問** 駅の橋上化等、駅舎整備をどのように考えているのか。

**答** 竜野駅北からの利便性向上のため、自由通路のバリアフリー化と直接ホームへの乗降が可能な改札の設置、エレベータの設置など、JRR姫新線本竜野駅と同様の機能が備えられるよう、効率的な自由通路の改修を考えている。

橋上駅は、線路の上に駅の事務所がある状態をいい、現在、その事務所の位置は協議段階である。

**問** 駅としてのスペースが小さい駅も見られるが、現在の駅舎

ほどの面積が必要なのか。地域交流センターなどへの活用は。

**答** 地域交流センターは、まちづくりの交流拠点であり、そこでまちの活性化を図っていく意味で必要性を感じている。竜野駅の状態等を踏まえ、本市の計画に盛り込めるよう、JRR西日本と協議中である。

地域交流センターをより良いものにするともに、南北自由通路を最大限に利用し、利便性のある竜野駅にしてみたい。また、竜野駅前北線と交差する北山正條線及び神戸北山南線の交通量が多く、今後さらに増加が見込まれるため、早急の周辺整備を要望する。



竜野駅周辺地区整備計画平面図

その他の質問事項

● 合併特例債について

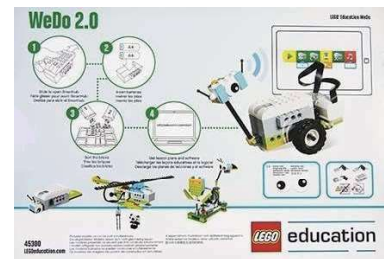
Q&A

プログラミング教育が始まることによるICT活用等の教育環境について



木南 裕樹 議員

KIMINAMI YUKI



小学校のプログラミング教育で使用する支援教材「レゴ® WeDo 2.0」

**問** 新学習指導要領により情報教育として来年度より小学校プログラミング教育の実施、2021年に中学校でも全面的な学習を行うのか。

**答** 小学校では、算数、理科、総合的な学習の時間等においてコンピュータを活用したプログラミング教育に取り組む。例えば、算数においては、ソフトウェアを活用し正多角形の作図の仕方を学習する。中学校技術・家庭科の技術分野においては、

情報処理の手順を考え、簡単なプログラミングを作成する学習を行う。

**問** 大阪府教育委員会が登下校に限り小中学校への携帯電話の所持を一部解除するガイドラインを発表したが、本市では携帯電話所持についてどのように考えているのか。

**答** 本市では、携帯電話の持ち込みについて教育活動に必要なものではないことから原則禁止としている。しかしながら今日の課題として児童生徒の登下校を含めた防災・防犯の観点から、改めて検討する必要があると考えている。

**問** 中学生のスマホ依存が社会的問題となっているが、スマホ依存に対して相談できる機関はあるのか。

**答** たつの市教育委員会では、スマホ依存に限らず、『教育相談専用ダイヤル』を設けている（64・3023）。兵庫県ではネット上のいじめ、誹謗中傷の解決を図る『ネットいじめ相談ダイヤル』を開設している。